

Charmy smile & Green head



お元気ですか? 「チャーミスマイル&グリーンヘッド」聴かせていただきました。私は「バラシユート」が好きです。同が耳に残って、もう一度もう一度くりかえし聴きたくなる「チャーミスマイル&グリーンヘッド」のミニアルバム、いいなあー。

相川 七瀬

Charmy smile & Green head

井手とはもうなんだかんだで、少々につきあいになる。めしすら一緒に食った事もないが最近、変な安心感すらおほえる。たぶん、腹黒い奴なんだらう。ただ少し、天使な部分が奴の心に残っている。だから、青春なんかをテーマに歌を唄うんだらう。今、井手がこのアルバムでぬけ出せば、天使な部分がなくなるんだらう。自分でも知っているはずだ。ためしているんだらう。白か黒のかけに近いね。ほら早くこっちにおいで。

ジャズ風 つんく

太陽がくれた季節を今カバーした彼らは
チャーミスマイル&グリーンヘッドは言にくいから
でもその言にくいバンド名をみんなが言うよう
になったりする分けよ
ニッポン放送 飛んでけツッチー

井手功二という不思議な才能がある。この男はつき合えばつき合う程面白い男だ。何か面白いといえは、彼の選球眼である。エヴァンゲリオン、ジャニーズJr、ときめきメモリアル等、中高生にひっかりそうなるものをいち早くキャッチし、フォームにしてきたが、それは井手功二の感性と、それらが、120%マッチしていたからだろう。そんな世の中の流れを客観的につかみ、作って...井手功二が、今度は自分の中から新しいフォームを作ろうとしている。「チャーミスマイル&グリーンヘッド」を最初に聞いた時はおどろいた。どこにもなかったような音であり、どことなくつかしい音でもある。ついに選球眼のあるバッターが、バッターボックスに入った。「チャーミスマイル&グリーンヘッド」に大いに期待している。
ニッポン放送「ゲルゲットショッキングセンター」
チーフディレクター 勲使川原 昭



Charmy smile & Green head

僕が唄っているそのテーマは“青春”チャミグリのテーマそれもズバリ“青春”それぞれスタイルの違いは、多少あるにしろ、まさしく僕とチャミグりは、青春のライバルだと少なくとも僕は思っている、これから“青春”のライバルとして正々堂々と楽しく戦っていきましょう! フレー! フレー! チャミグリ フレ、フレ、チャミグリ(繰り返し) 拍手! P・S いつの日か紅白で逢いましょう。 いわぶちかつひこ

Charmy smile & Green head

したのは非常に前向きなことで、チャミスマイル&グリーンヘッドは70年代的な音を出している中、ジャングル、HIP HOP、シンプリング技術等をからめ、今のおいしい音を全てとり入れている。この宇治田みのるも小走りでもしなれば追いつかないくらい先だの早さがある。若い人達には特に新しい音楽として受けとめられるだらうね。こはGrowin'upが一番好きなんだと、もはや早くついてこないよやばいよ。「チャーミスマイル&グリーンヘッド」と一緒に育っていか。またそれによって「チャーミスマイル&グリーンヘッド」もGrowin'upしてくだらうしさ。宇治田みのるがいらんだから間違いないよ。上も井手っちは一緒にラジオをやったその時とはまたちがうささを見て幸せになっっていると思っもってとっすつといて欲しいと思ふ。

デビューオメデトウ!!
コーラスでもギターでもダンスでも何でも演るから、俺も参加させて...井手さん、ラジオして、何かとお世話になってます。ところでおはあちゃんは元気ですか?
藤重 政孝

井手さん、業界Fuckでがんばって下さい
ロンドンブーツ1号2号

「トリップフォークジャンボリーがんばろう」
ニッポン放送「オールナイトニッポン」
チーフディレクター 近藤 久晴

Charmy smile & Green head



★イベントスケジュール★

8月21日(水) 東京・有明コロシアム 19時30分開演
8月22日(木) 大阪・ドームシティ 19時30分開演
8月23日(金) 名古屋・ドームシティ 19時30分開演
8月24日(土) 福岡・ドームシティ 19時30分開演
8月25日(日) 札幌・ドームシティ 19時30分開演

Charmy smile & Green head

Charmy smile & Green head



Debut!!
8.21 Release 1st mini album
GROWIN' UP
VICL-60091 ¥1,575(Tax in)



Charmy smile & Green head

【問】ビクター A&R2部 03-3746-5562
アミューズ Vプロダクション 03-6457-3338

チャーミースマイル
& グリーンヘッド

Charmy smile
& Green head

Charmy smile
& Green head



チャーミースマイル&グリーンヘッドとは…
元ブランニューモンキーズの井手功二が新進気鋭のベーシスト高砂圭司と結成した2人バンド。サウンドは90年代のヒップホップ的方法論をベースにしたグループの上にアコースティック・ギターとアコースティック・ベース、そして日本語によるフォーク的余情性を乗せるというスタイル、コンセプトはすばり青春です。



井手功二 1971年1月11日生 A型

'94年10月テレビ朝日系バンドオーディション番組「えびす温泉」に出演。パンクとラップを融合した時代に合った音楽性と強烈なキャラクターで視聴者から絶大な支持を得てメジャーデビュー、ラップ界に旋風を巻き起こす。'95年11月ニッポン放送「ゲルゲットショッキングセンター」(毎月〜木 22:00〜25:00)のメインパーソナリティに大抜擢される。オンエア開始半年後はラジオ界NO.1のレーティングを獲得。その後相川七瀬のメガヒットアルバム「RED」に参加。ユニックグループ クーニヤンス、小橋賢二、アニパンク(オリコンチャート20位をマーク)などのプロデュースを行う。新たな音楽を求めてチャーミースマイル&グリーンヘッドを結成。



高砂圭司 1967年5月21日生 AB型

「Pearl」「MOON」などのバンドに参加した後、'95年よりブランニューモンキーズのLIVE及びレコーディングに参加。井手功二より絶大な信頼を得て共に音楽活動始める。その後も「サーフコースターズ」「鈴木建吾」などのサポートメンバーを務め、チャーミースマイル&グリーンヘッドを結成する。

1. 「GROWIN'UP」TV東京系「ニュースTHIS EVENING」エンディングテーマ
打ち込みとベースとギターで、とりあえずいつとけ、みたいな曲。ハイスタがすごい好きで。ハイスタの曲で「GROWIN'UP」ってカッコいいでしょ。でも、同じ形でやったら絶対かなわない。あんだけカッコいいから。だったら自分たちのやり方で、もっと青春な感じで。ハイスタは去年一緒にイベントにでたんですよ。ナンバくんがとにかくカッコよくてかわいくて。

2. 「パラシュート☆」
パンクバンドでやったんですよ。僕としても作ったときから好きな歌で。なんかこのバンドでやりたいな、と無理やりブレイクビーツで作ったんですけど。実は本質だったりしちゃうんですけど。スナちゃんも、普通のエレベでひいてるし、僕もエレキしかひいてないし。いい曲だ。(笑)。

3. 「少年」
これは、スナちゃんが、初めて一緒にやったときに作ってきた曲。すごいいい歌で。歌詞だけね、ちょっと自分としてはアレンジ変えて気に入らなくなっちゃったんですけど。あの歌詞もすごい好き。いい歌です。聞いてください。

4. 「太陽がくれた季節」
「太陽がくれた季節」とかカバーしちゃうたら面白いですよー!」なんて(笑)、調子にのって言っちゃって、またそれがいいじゃん、ってことになっちゃって、「困った〜」って(笑)。でもそれを、逆に楽しくやるうよ、みたいな。だったらおねえちゃんも入れて、その当時のまんまの雰囲気。



チャミグリ・トーク

●ふたりの出会いと第一印象は?
井手(い) ブランニューモンキーズのとき、先に決まっていたドラムの人が「いいベースいるから」って。その頃まだマジメに音楽やってたんで(笑)、どんな人かすごい心配でライブハウスに見にいったら、とんでもなくグルヴィーなベースを弾く人で。カッコよかったんですよ。
高砂(た) 第一印象は、すごくよかったよ。
い・僕もすごいよかった。一緒に始めたいきっかけは、ブランニューのセカンドのレコーディングのとき。みんなで大ゲンカしたんですよ。一緒にいる時間が長すぎてイヤになっちゃただけなんですけど。で、スナちゃんとふたりで「気持ちいいパンクでもやるよ」って、パンクバンド始めて。

た・音楽の趣味がほぼ合いますね。パンク好きで。
い・うん。パンク好きでジャミロクワイ好きで、あとDJの音楽も僕は好きで。僕はさらに幅広いと思うんだけど(笑)。そん中で今一番やりたいと思うことが、スナちゃんとは合致したんですね。

●名前の由来は?
い・最初のそのパンクバンドはね、「ドーベルマンDEKA」だったの(笑)。ブランニューモンキーズって、サルだったから、イヌがいいなと。ま、そのバンドは本気じゃなくて・・・本気だったけど。
た・本気だったよね。

い・まあ新しいの始めるのに、なんかかわいいのがいいな一と思って。男らしいのはやめよう。
た・うん。向いてないと。

い・チャーミーグリーンのコマーシャルやって、「あ、かーわいー」と思って。でもチャーミーグリーンじゃ障害が絶対あるなと。で、ピーバス&パットヘッドみたいな感じになりたいな、って、「チャーミー&グリーンヘッド」にした。でもなんか語呂悪い。そしたらテレビでスマイルって、バンドが出て。フォークギター持ってる。いいじゃん、って、「チャーミースマイル&グリーンヘッド」にしたんです。

●アルバムについて
い・最初に、「トリップフォーク」みたいなことを僕が言いだしちゃったんです。でも実際やってみると、そうはならないんですよ(笑)。ただ「トリップフォークジャンボリー」とか、そういう言葉が新鮮だったんで、言葉だけ残して。フォークって思ってたところがあるし。すごい試行錯誤でやってるんだけど、やっぱり打ち込みとナマって、合わないんです。最近のデジタルもんって、ケミカルブラザーズだったらロックだったり、ダフトパンクだったらファンクなノリだったり、絶対響りがするじゃないですか。意外と日本人ってそういうのを出せないと思う。テクノとかじゃない、打ち込みで日本っぽいって、フォーク歌謡で打ち込み、みたいな。それをいかに自分たちがかわいと思うやり方でできるかっていうのをつくつめたいなと。あと、一生懸命歌うたっつたんで、聞いてください。

●コンセプトはスバリ青春。ってことですか。
い・そんなことは決めつつもりはないぞ(笑)。でも青春くさいのは僕の詞のね、クセなんです。一生、青春っチャー青春ですよ。楽しくやってる人は。できたらこのバンドでは、自分の青春を描いていきたいなと。俺とスナちゃんの青春をぶつけたいなと。フォークとかの青春じゃなくて、もっと今風な書き方で。といっても、そんな風に考えて書いたことはないです(笑)。書いたら、最終的には「メロディと歌詞がいいな」と言ってもらえるといいな、と思うので。頑張ります(笑)。

い・僕ら自身まだ、自分たちの音楽性とかよくわかってないんです。わかってないからいろいろやってるんですけど。歌もこれかアーティストになりたいです。
た・「GROWIN'UP」だけに。
い・うん。うまいこと言うね。僕らのグローイング・アップを見てほしい(笑)。

Charmy smile
& Green head

Charmy smile
& Green head

Charmy smile
& Green head